

令和5年度事業報告書

対面型の就職イベント等について計画どおり実施したほか、岩手日報タブロイド版により、求職者の親世代に向けた県内企業の認知度向上の取組も継続しています。

就職活動交通費支援制度については、新たに宿泊費の支援を開始しました。

資産の運用については、資金運用計画に基づき運用を行い、計画を上回る利息収入を確保しました。

1 就職イベントの開催

(1) いわて就職マッチングフェア（県内）

No	名称	開催日	出展企業	参加者	備考
1	Ⅱ	令和5年4月29日 (土・祝)	138社 (100社)	189名 (221名)	
2	Ⅲ	令和5年8月11、 12日(金・祝、土)	66社 (64社)	162名 (176名)	・いわておかえりプロモーション (県主催) ・県内企業に聞く！岩手県U・Iター ンセミナー(県主催) ・保護者のための就活サポートセ ミナー(県主催)
3	in 県南	令和5年10月14日 (土)	68社 (88社)	100名 (58名)	セミナー及び個別相談(岩手キャリ ア形成・学び直しセンター主催)
4	Ⅳ	令和5年11月18日 (土)	140社 (136社)	204名 (194名)	・2023 グローバルキャリア in 岩手 (国際交流協会と合同開催) ・大学生等の保護者のための就活 サポートセミナー(県主催)
5	Ⅰ	令和6年3月16日 (土)	187社 (187社)	192名 (233名)	企業向けインターンシップ活用促 進セミナー(県主催)
合計			599社 (575社)	847名 (882名)	
1回当たりの平均			119.8社 (115.0社)	169.4名 (176.4名)	

(注1) 出展企業、参加者の下段は、前年同時期のイベントの数値

(注2) No.1、No.4、No.5の会場は、岩手産業文化センターツガワ未来館アピオ（滝沢市）、No.2は、岩手県民情報交流センターアイーナ（盛岡市）、No.3は、ホテルシティプラザ北上（北上市）

(2) 岩手県U・Iターンフェア（県外）

東京では、県が実施した全県移住フェア「THEいわてDAY」と合同で開催しました。

また、仙台では、令和4年度に引き続き開催し、県にゆかりのある芸人をゲストにセミナー等も実施しました。

参加者は、両フェアとも昨年度より増加しました。

No.	会場	開催日	出展企業	参加者	備考
1	東京	令和5年9月30日 (土)	30社 (20社)	583名 (83名)	県と合同開催
2	仙台	令和6年2月10日 (土)	42社 (45社)	74名 (62名)	・就活セミナー(学生向け) ・転職セミナー(主に社会人向け)

(注1) 出展企業、参加者の下段は、前年同時期のイベントの数値

(注2) No.1の会場は、東京交通会館（東京都千代田区有楽町）、No.2は、仙台市中小企業活性化センター（仙台市）

2 関係機関との連携

(1) 未来のワタシゴト探究会議〈主催：岩手県〉

県が開催している「未来のワタシゴト探究会議」（令和4年度～）は、高校生が「社会課題」や「地域課題」の視点から、岩手の大学等や企業がどのように課題解決に向けて活動をしているかを知ること、岩手で学べる教育・研究内容や県内の様々な業種の企業について理解を深めるための取組ですが、令和5年度は下表のとおり県内18校の高等学校1、2年生、860名が参加しました。

参加高校生からのアンケート結果では、「県内の学びや仕事に対するイメージが変わったか」の質問で79.5%が「変わった」との回答結果となるなど、高校生の関心が高い効果のあった取組となりました。

当会議は、令和7年度から財団の主催事業となることから、県と実施方法等の打合せを随時実施したほか、当日の運営に財団職員も参加するとともに、参加者を輸送するための貸切バスの費用を支援しました。

【参考】令和5年度未来のワタシゴト探究会議の開催結果

区分	内容
開催日時	令和5年12月20、21日（水、木）の2日間 各日とも12：30～16：20
開催会場	いわて県民情報交流センターアイーナ8階
参加者	岩手県内の18校の高等学校1、2年生、860名 盛岡第一高等学校 盛岡第二高等学校 盛岡第四高等学校 盛岡北高等学校 盛岡商業高等学校 盛岡白百合学園高等学校 盛岡中央高等学校通信制 盛岡市立高等学校 花北青雲高等学校 黒沢尻北高等学校 北上翔南高等学校 水沢高等学校 金ヶ崎高等学校 一関学院高等学校 釜石高等学校定時制 久慈高等学校長内校 大野高等学校 軽米高等学校
出展者	大学等4校、企業・団体62社

(2) ジョブキッズいわて事業〈主催：株式会社テレビ岩手〉

この事業は、小学生が県内企業の仕事の体験を通じて、ふるさとを学び、ひいては若年層の地域定着をねらいとしており、財団では、特別協力の形で登録企業に対する事業への参加募集を支援しました。

【実施状況】

・開催期間：令和5年7月22日（土）～9月18日（月・祝）

・協賛企業：32社

いわてアスリートクラブ、近藤設備、白鳩、三浦設備、メガネクラブ、盛岡市上下水道局、谷地林業、やよいディライト、東北銀行、福田パン、アイオー精密、アプローチ、菅原靴店、平金商店、プランタンブラン by 花月堂、志戸平温泉、吉田印刷、岩手ファーム、オリテック 21、すノ家（川村商事）、さいとう製菓、柴田産業、シルバードッグ、プレックス、みのり風土、ヤマト、フラワーショップRire、SMC、ドコモショップ盛岡バイパス店、南部美人、ノーティ、吉田測量設計

・番組放送：令和5年9月24日（日）13時30分～14時25分

・参加者延べ数（体験数延べ人数：1人3回体験の場合は3人と算定）：716人

3 就職活動交通費等の支援

令和5年度から新たに学生のインターンシップ等（オープンカンパニー、キャリア教育、インターンシップ）に参加するための宿泊費の支援を開始したほか、交通費については岩手県U・Iターン就職フェア in 仙台への参加を対象とした場合の特例を設けました。

支給実績は昨年度と比較して109件、912,500円の増加となり、初めて職場見学等がフェア参加を上回りました。

【支給実績】

単位：件数

区分		東北	東北以外	計	支給金額（円）
交通費	フェア参加	55 (54)	102 (91)	157 (145)	1,295,000 (1,180,000)
	職場見学等	58 (36)	112 (61)	170 (97)	1,410,000 (790,000)
	計	113 (90)	214 (152)	327 (242)	2,705,000 (1,970,000)
宿泊費		@ 5,000		10 (—)	50,000 (—)
		@ 7,500		5 (—)	37,500 (—)
		@ 10,000		9 (—)	90,000 (—)
計			24 (—)	177,500 (—)	
合計			351 (242)	2,882,500 (1,970,000)	

(注) () 内は令和4年度実績

【参考】

<宿泊費支援の内容>

県外の学生が、県内企業のインターンシップ等に参加するため、2泊以上の宿泊で支払額が10,000円以上となった場合に、一律に以下のとおり支給

- ・ 支払額が10,000円以上～15,000円未満 5,000円
- ・ 支払額が15,000円以上～20,000円未満 7,500円
- ・ 支払額が20,000円以上 10,000円

<特例内容>

- ・ 宮城県外の東北地区（岩手県を含む。）から参加した場合：5,000円
- ・ 東北地区以外から参加した場合：10,000円

4 就職支援情報の収集及び提供

(1) インターネットによる情報発信及び求職者登録の強化

財団ホームページの企業情報の充実を図るため、登録企業に対して情報の随時更新やフェア開催時に企業及び利用者登録を働きかけたほか、利用者登録促進のための宣伝チラシを作成し、関係機関や大学等に送付した結果、登録企業数及び利用者登録数は順調に増加しました。

また、了解を得られた利用登録者の情報を岩手県が運営するジョブカフェいわてに提供し、個別相談につなげるなど登録のメリットも向上させています。

更に、令和5年4月から情報発信強化のため有期労働契約職員1名を採用し、毎日X（旧ツイッター）により、就職イベントやイベント出展企業、ラジオ番組紹介企業の情報等を発信したほか、登録企業や利用者登録者に対して、定期的に活用方法のメリット等をメルマガで配信した結果、財団ホームページへのアクセス件数も増加しました。

【財団ホームページの活用状況】

区分	令和6年3月末	令和5年3月末	前年度対比	増減
登録企業数	1,187社	1,100社	107.9%	+87社
利用者登録数	4,093人	3,215人	127.3%	+878人
訪問件数(月平均)	34,621件	25,694件	134.7%	+8,927件
アクセス件数 (月平均)	1,631,663件	1,168,420件	139.6%	+463,243件

(注1) 訪問件数：当財団のホームページを閲覧した延べ回数（人、回）

(注2) アクセス件数：ホームページ中の閲覧された延べページ数（人、回、ページ）

(2) 求職者の親世代等の目線に訴える情報の発信

県内就職を促進するためには、家族からの後押しも有効なため、県内新聞への広告や生活情報系のテレビ・ラジオ番組への情報提供を実施するとともに、下記事業を実施しました。

ア 「イワテでシゴトする」(岩手日報タブロイド版)

年3回(8/7、12/25、3/1)発行し、8月号及び12月号については、県内の全高校生に配布しました。

イ 「いわて就職マッチングラジオ」の放送(毎週平日の16時5分～10分)

年間240回放送し、県内企業の認知度の向上に努めたほか、財団イベント開催周知や開催結果などを発信しました。

5 出稼ぎ就労者の援護

(1) 傷病等事故見舞金の給付

互助会員が就労先で災害・疾病によって死亡又は休業したときなどに傷病等事故見舞金を給付していますが、1件(洋野町)の傷病等事故見舞金を給付しました。

【傷病等事故見舞金の給付状況】

給付の種類	事故件数	給付金額
死亡見舞金	—	
傷病見舞金	1	70,000 円
重度障害見舞金	—	
火災見舞金	—	
治療証明書交付手数料	(1)	2,000 円
遺族旅費	—	
計	1	72,000 円

(注) () 内は事故件数に含めない。

(2) 「出稼ぎの葉（しおり）」の発行

互助会員に対する意識向上と健康で安全な就労を目的として、病気や災害防止の心得などを掲載した「出稼ぎの葉」は10月に発行しました。

(3) 出稼ぎ関係情報の提供

出稼ぎ関係の統計や市町村の関連施策などを載せた「岩手県における出稼ぎの実態」を県と共同で編集し7月から県のホームページで公表しました。

6 法人の運営

(1) 適切な資産運用

令和5年度資金運用計画に基づき、運用年限の分散や高金利債券への買い替えなど財団にとって有利な運用を行った結果、利息収入が増加し、売買に伴う差益も生じました。

令和5年度末時点での資産運用状況は別紙のとおりです。

(2) 組織パフォーマンスの向上

令和5年度から、情報発信強化のため有期労働契約職員1名を採用し、計6名体制（専務理事兼事務局長、事務局次長、就職支援コーディネーター4名）で業務を執行し、職員の意欲や能力を引き出せるようなマネジメントに努め、組織運営を行いました。

(3) 理事会運営

令和5年度第1回理事会の開催

日時：令和5年5月18日（木）午前11時から

場所：ホテルエース盛岡

議題：（決議事項）

第1号議案 令和4年度事業報告及び決算の承認について

第2号議案 定時評議員会の招集について

（報告事項）

令和5年度県出資等法人の運営評価について

令和5年度第2回理事会の開催

日時：令和5年11月9日（木）午前10時から

場所：エスポワールいわて

議題：(報告事項)

- 1 令和5年度上半期執行状況について
- 2 令和5年度岩手県出資等法人等の運営評価レポートについて
(意見交換)

テーマ「県内における女性就職の現状について」

令和5年度第3回理事会の開催

日時：令和6年3月26日(火)午後1時30分から

場所：ホテルエース盛岡

議題：(報告事項)

令和5年度職務執行状況について

(決議事項)

第1号議案 令和6年度事業計画について

第2号議案 令和6年度収支予算について

第3号議案 公益財団法人ふるさといわて定住財団資産運用規程の一部改正について

(4) 評議員会運営

令和5年度定時評議員会の開催

日時：令和5年6月6日(火)午後1時30分から

場所：ホテルエース盛岡

議題：(報告事項)

令和4年度事業報告について

(決議事項)

第1号議案 令和4年度決算の承認について

(5) 臨時理事会及び臨時評議員会

理事及び評議員の迅速な選任を行うため、次のとおり書面決議を行いました。

会議名	決議の日	決議内容
第1回 臨時理事会	5月2日	① 評議員の選任 高橋 徹、小野哲治、中嶋孝樹
第2回 臨時理事会	8月14日	② 評議員の選任 澁谷広記

会議名	決議の日	決議内容
第1回 臨時評議員会	5月15日	① 評議員の選任 高橋 徹、小野哲治、中嶋孝樹
第2回 臨時評議員会	9月4日	② 評議員の選任 澁谷広記

7 設備投資の実績

(1) 設備投資の内容

登録企業及び利用登録者のうち、一定期間ログインがない登録者の自動削除の機能や交通費支援の申請回数のカウント及び申請データのダウンロードの追加等の改修を行いました。

(2) 支出額

1,488,300 円

8 就職活動支援事業資産の計画的な活用状況

特定資産の就職活動支援事業資産については、令和4年度第3回理事会において情報発信強化を目的として計画的に活用することを承認されましたが、令和5年度の活用状況については次のとおりとなり、残額は523,004円となりました。

【就職活動支援事業資産活用状況】

単位：円

区分	令和5年度	活用計画	備考
情報発信費用	11,752,140	11,500,000	タブロイド版発行 マッチングラジオ放送 利用登録者推進チラシ作成 等
人件費	1,724,856	2,500,000	有期労働契約職員1名分
合計	13,476,996	14,000,000	

就職活動支援事業資産の計画的な活用について

1 背景

近年、就職イベントへの参加者が減少傾向となり、より参加者を増加させるためには、ふるさといわて定住財団のホームページの情報発信が重要となっている。

また、新型コロナウイルス感染症の影響で、就職イベントの中止に伴い代替事業として令和3年度から実施した「イワテでシゴトする」の発行や、「いわて就職マッチングラジオ」の放送は、県内企業情報発信の重要な取組となっている。

一方で、特定資産の就職活動支援事業資産（以下「事業資産」という。）については、平成29年度末の金額90,392千円から、令和3年度末の金額159,232千円となり、4年間で68,840千円が積み増しされ（【表1】）、令和4年度も10,000千円程度の増加が見込まれている。

公益財団法人は、利益を内部に溜めずに公益目的事業に充てるべき財源を最大限活用して、無償でサービスを提供し受益者を広げることが求められている。

このような状況を踏まえ、情報発信強化のための費用などで年間の経常費用の増加が見込まれ、資産運用収入のみでは対応が困難なことから、累増した事業資産の有効活用を検討する。

【表1】 事業資産の推移

単位：千円

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	合計
年度末残額	90,392	110,396	138,397	147,632	159,232	—
対前年度比増加額	—	20,004	28,001	9,235	11,600	68,840

2 事業資産の計画的な活用

財団ホームページ利用登録者数の増加を図るためのホームページや新聞、ラジオ、チラシ作成配付等の情報発信について、今後3年間で積極的に集中的に取り組む必要があることから、計画的に事業資産（159,232,000円：令和4年3月31日現在）を活用するものとする。

- (1) 財団ホームページ、新聞、ラジオ等での情報発信強化
- (2) 情報発信強化に伴う有期労働契約職員（3年間）増員1名の雇用

3 活用計画

令和5年度から令和7年度の3年間で42,000千円程度（想定）を活用すること。詳細は

【表2】のとおり。

【表2】 活用計画（概算額）

単位：千円

項目	R5年度	R6年度	R7年度	計	備考
情報発信費用	11,500	11,500	11,500	34,500	令和6年度以降については、各年度の事業計画に基づき精査します。
人件費	2,500	2,500	2,500	7,500	
計	14,000	14,000	14,000	42,000	

4 活用後の状況報告

各年度の決算報告時に、事業資産の残高状況について報告するものとする。